

静岡県月例経済報告

(令和8年1月号)

……令和7年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 597



静岡県は、お互いが尊重し合えるコミュニケーションを大切にし、
カスタマーハラスメントのない社会づくりを進めています。

静岡 カスハラ防止

検索

詳しくはこちらからご覧ください。



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和7年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和7年11月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、物価動向や米国の通商政策をめぐる動きなどの景気を下押しするリスクに留意が必要である。また、雇用・所得環境や海外経済、金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、製造業を中心に増加している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している」

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が2か月連続、スーパーが13か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも13か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(11月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月連続、コンビニエンスストアが9か月連続、ドラッグストアが3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、軽自動車が3か月ぶり、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(11月)は、貸家が4か月連続で前年実績を上回ったものの、分譲住宅が3か月ぶり、持家が8か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(11月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、製造業を中心に増加している」

日銀短観(12月調査)の令和7年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）(11月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、持ち直しつつある」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(11月)は、エアコンが3か月ぶり、自動車は2か月ぶり、科学光学機器が2か月ぶり、原動機が2か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車の部分品が4か月連続、二輪自動車類が2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(11月)は、魚介類及び同調製品が4か月ぶり、木材が2か月ぶり、パルプが3か月連続、紙類及び同製品が4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が3か月ぶり、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,418億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(11月)は、はん用・生産用・業務用機械が14か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械が15か月ぶり、輸送機械が3か月ぶり、化学が3か月ぶり、食料品・たばこが2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が2か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも3か月ぶりに前年水準を下回った。なお、前月比は2か月ぶりに減少した。

鉱工業在庫指数は、総合では3か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(11月)は1.06倍となり、前月と同水準だった。58か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(11月)は、6か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(10月)は10か月ぶりに前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(10月)は、前年同月比 1.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(11月)は、前年同月比 15.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(11月)は、件数は18件(前年同月比 38.5%増)と前年実績を上回り、負債総額は3,149百万円(同 132.6%増)と前年実績を上回った。

静岡県は

パートナーシップ構築宣言

を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ 構築宣言とは



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

パートナーシップ構築宣言登録数 (R7.12.31時点)

全国
6位

県内

3,993社

全国

83,227社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 企業イメージの向上
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 定期的な宣言内容の見直し
- 宣言内容の実行
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更

静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ

静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課
TEL : 054-221-2182

URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/koshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら

(公財)全国中小企業振興機関協会
TEL : 03-6228-3802

<https://www.biz-partnership.jp/>



令和8年4月1日から

静岡県カスタマーハラスメント防止条例が施行されます。



暴言・暴力



過度な要求



長時間の拘束



SNSへの投稿

御法度! カスハラ

～カスハラゼロの静岡県へ～

注意

お客様からの正当なご意見は、業務改善やサービス向上に役立つものであり、軽視したり制限してはなりません。さらに、障害のある方など、特別な配慮が必要な場合があることにも心を配りましょう。

カスタマーハラスメントと感じたら、ためらわずに上司や会社の相談窓口ご連絡してください。



静岡県は、お互いが尊重し合えるコミュニケーションを大切にし、カスタマーハラスメントのない社会づくりを進めています。

静岡 カスハラ防止

検索

詳しくはこちらからご覧ください。



静岡県

<トピックス>



令和7年度



参加
無料



クラウドファンディング型研究 成果発表会

リアル会場 + オンライン配信

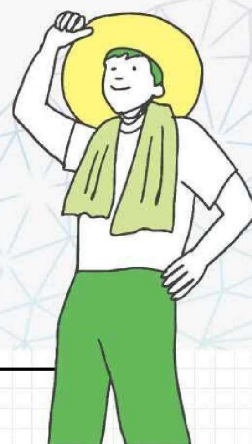
どなたでも参加可能

2.17火

13:30~15:30

静岡県庁別館20階 第1会議室A
(静岡市葵区追手町9-6)

クラウドファンディング型ふるさと納税(募集期間:令和7年5月21日から7月21日)を活用した研究の成果発表会を行いますので、是非ご参加をお願いします。



13:30~14:30 | 研究成果発表

課題
1

高品質な「原木生シイタケ」を食卓へ届けたい!

発表者 内山義政(農林技術研究所 森林・林業研究センター)

課題
2

至高の逸品「温室メロン」を、
最高のタイミングで味わって欲しい!

発表者 大場聖司(農林技術研究所)



14:30~15:30 | 意見交換・試作機展示(会場のみ)等

定員

- ・会場50人程度(先着順)
- ・オンライン無制限

申し込み

こちらからお申し込みください

https://apply.e-tumo.jp/pref-shizuoka-u/offer/offertList_detail?tempSeq=18804

申込みはこちらから ▶



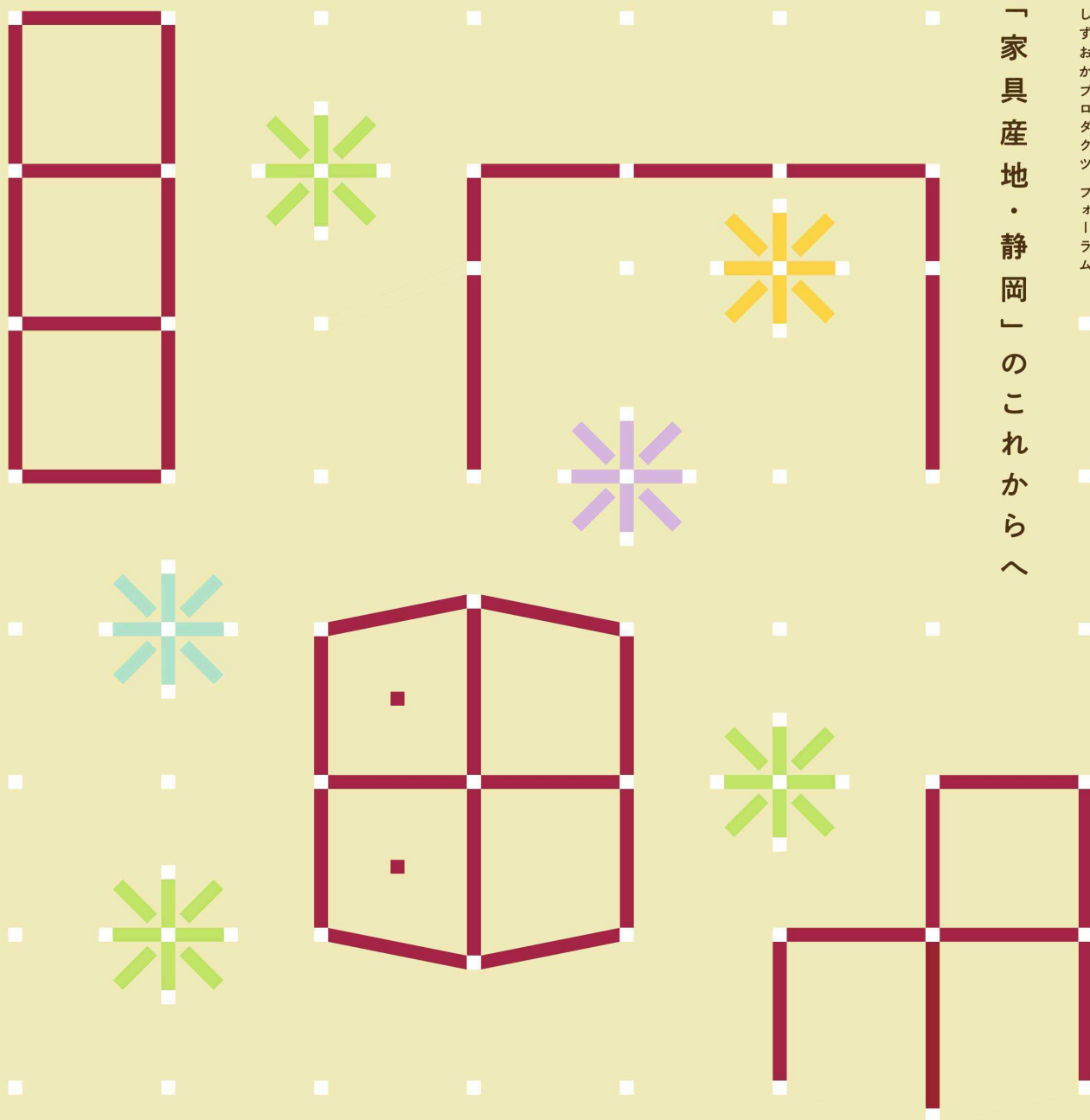
主催: 静岡県

問合せ先: 産業イノベーション推進課 TEL/054-221-2609

<トピックス>

しずおかプロダクツ フォーラム

「家具産地・静岡」のこれからへ



Shizuoka-Products Forum 2026

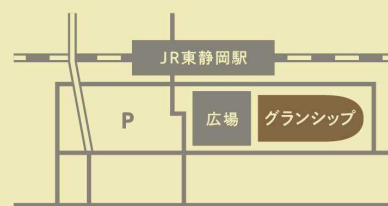
未来とつながる3日間

入場
無料

2026/ 2 / 20(fri) - 22(sun)

グランシップ 9F・10F

静岡市駿河区東静岡2-3-1



JR東静岡駅から徒歩5分

主催 静岡県(経済産業部地域産業課)

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2520

FAX 054-221-5002

E-mail shizuoka-products@pref.shizuoka.lg.jp

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月＝40,885百万円

*前年同月比：5.5%増

(県内3百貨店、167スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は40,885百万円で、前年同月比5.5%増となり、13か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比1.7%増）が2か月連続、スーパー（同6.2%増）が13か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同15.4%減）が11か月連続、身の回り品（同20.0%減）が13か月連続、家庭用品（同3.2%減）が11か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同6.2%増）が16か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は5.3%増と、23か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	37,850	39,155	38,899	39,801	40,744	37,392	39,321	40,885
前年同月比（%）	4.9	4.4	2.1	1.7	1.1	1.5	4.7	5.5
うち百貨店（%）	0.7	▲2.3	▲6.8	▲4.2	6.1	▲7.4	2.3	1.7
スーパー（%）	5.6	5.5	3.8	2.7	0.5	3.0	5.2	6.2
（参考1）全国前年同月比（%）	1.5	0.6	▲0.1	0.4	1.8	1.9	3.3	3.2
うち百貨店（%）	▲4.5	▲7.0	▲7.7	▲6.1	2.5	1.4	4.2	0.9
スーパー（%）	3.9	3.6	3.1	3.1	1.6	2.1	3.0	4.2
（参考2）県前年同月比（店舗数調整前）	5.1	4.7	2.3	1.9	2.1	2.2	4.7	5.3

（注1）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

（注2）令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

（単位：%）

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	▲19.4	▲17.4	▲17.4	▲21.3	▲13.1	▲26.6	▲14.6	▲15.4
うち紳士服・洋品	▲24.6	▲19.6	▲21.3	▲29.0	▲22.0	▲23.6	▲19.3	▲19.7
婦人・子供服・洋品	▲17.8	▲17.6	▲16.6	▲18.0	▲9.7	▲27.3	▲12.4	▲12.8
身の回り品	▲17.5	▲10.1	▲22.1	▲19.4	▲21.3	▲0.7	▲19.3	▲20.0
飲食料品	7.5	6.8	4.2	4.3	1.5	4.0	5.9	6.2
家庭用品	▲7.4	▲6.5	▲1.7	▲10.9	▲12.4	▲11.5	▲5.6	▲3.2
うち家庭用電気機械器具	4.7	5.2	13.8	▲1.3	7.8	5.6	18.6	23.9

（注）店舗数調整済、全月速報値

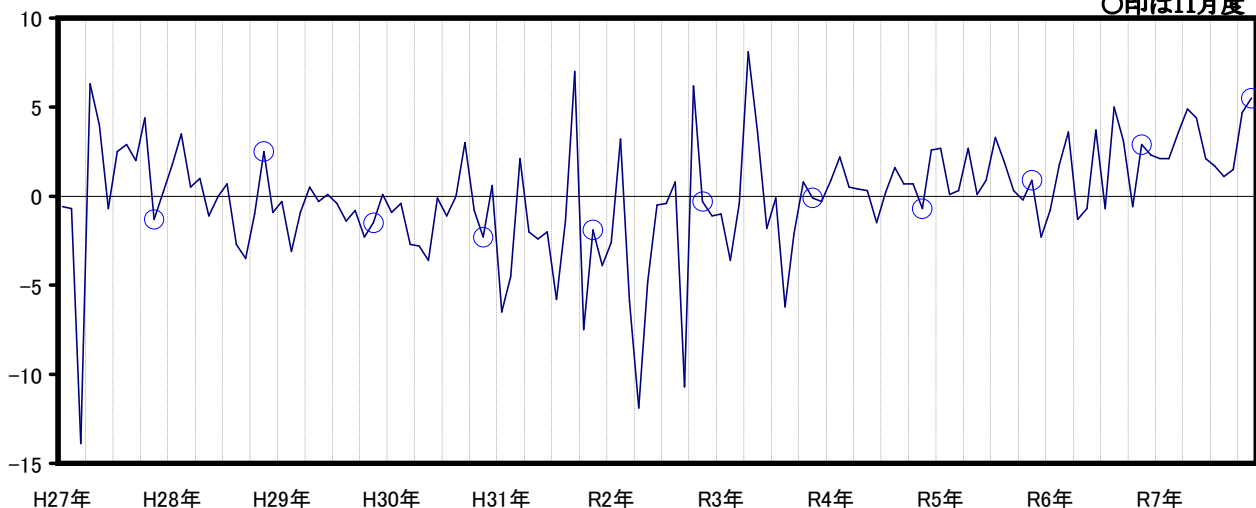
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は11月度



(2) 専門量販店等販売額

11月＝80,144百万円

＊前年同月比：3.8%増

(県内92家電大型専門店、1,673コンビニエンスストア、627ドラッグストア、111ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は80,144百万円で、前年同月比3.8%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。
業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比6.8%増）、ホームセンター（同0.3%増）がいずれも2か月連続、コンビニエンスストア（同2.6%増）が9か月連続、ドラッグストア（同5.1%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	77,470	80,070	81,786	85,310	85,012	78,109	79,002	80,144
前年同月比（%）	2.3	3.4	4.3	▲0.1	0.1	1.3	2.1	3.8
うち家電大型専門店（%）	3.2	5.9	4.5	▲12.6	0.4	▲1.7	9.7	6.8
コンビニエンスストア（%）	1.8	2.2	4.3	1.1	2.2	1.8	0.8	2.6
ドラッグストア（%）	3.8	5.3	4.6	3.4	▲0.2	3.0	1.9	5.1
ホームセンター（%）	▲2.3	▲0.6	2.7	▲2.0	▲6.3	▲3.8	0.7	0.3
（参考）全国前年同月比（%）	3.6	4.5	5.3	2.5	2.8	3.3	4.5	5.3

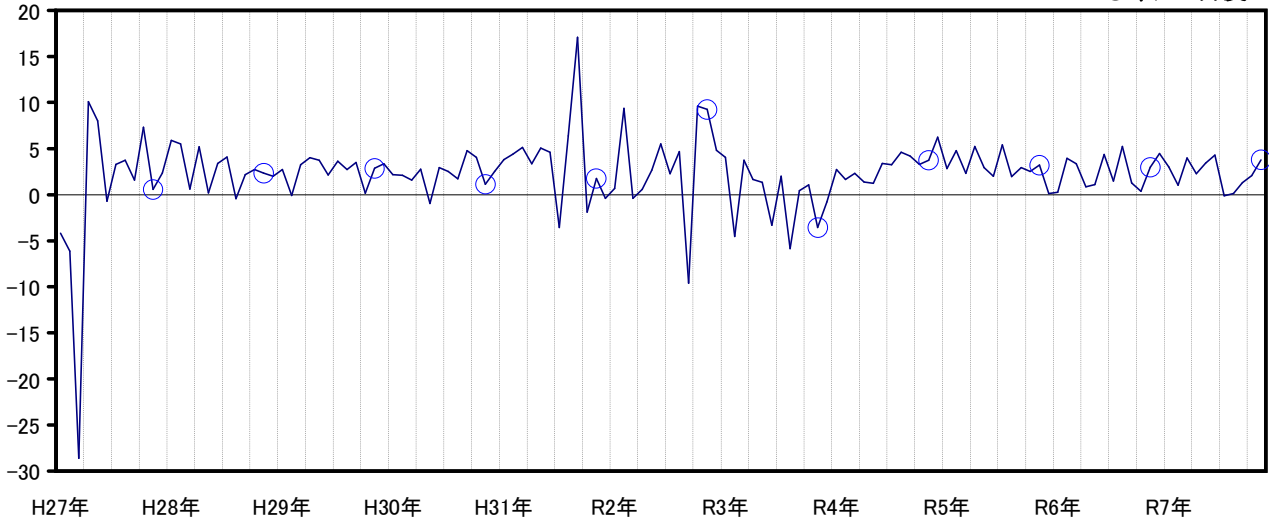
（注1）販売額、前年同月比は店舗数未調整
（注2）平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省
○印は11月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数
(乗用車、軽自動車合計)

11月 = 12,540 台

* 前年同月比： 6.8%減

<概 況>

11月の自動車（新車）新規登録台数は、12,540台で、2か月連続で前年実績を下回った。
車種別にみると、軽自動車（前年同月比 7.9%減）が3か月ぶり、乗用車（同 5.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登 録 台 数 (台)	11,709	10,847	13,690	12,819	10,080	14,837	13,867	12,540
前 年 同 月 比 (%)	11.0	5.4	10.1	▲ 3.5	▲ 8.2	2.3	▲ 0.5	▲ 6.8
(参考) 全国前年同月比 (%)	11.0	3.1	5.5	▲ 3.7	▲ 8.2	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 7.0

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移> (単位：%)

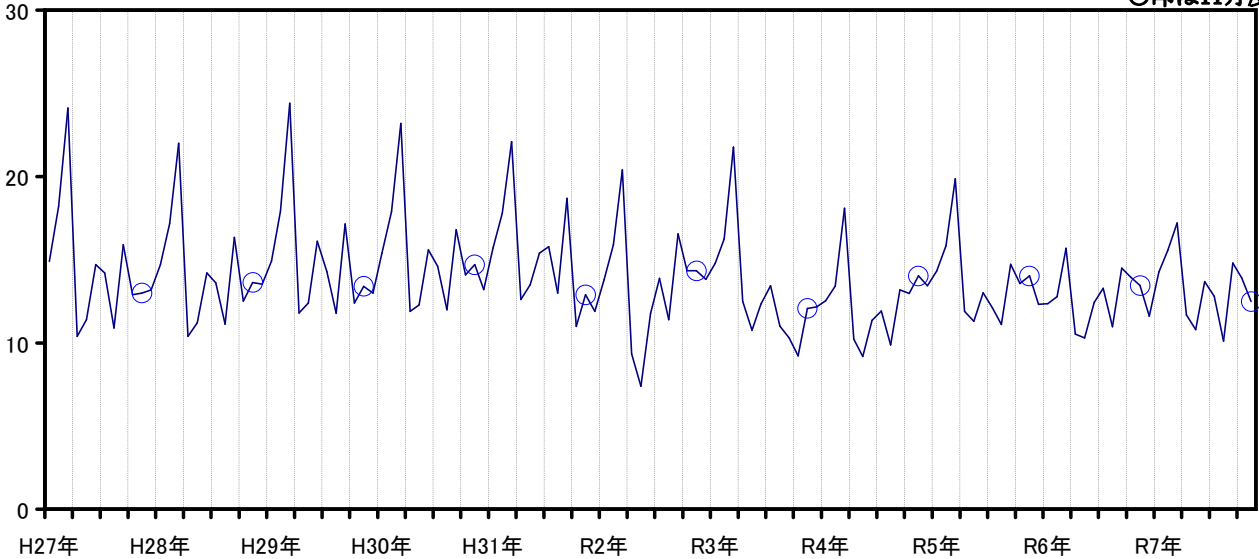
	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全 乗 用 車	11.0	5.4	10.1	▲ 3.5	▲ 8.2	2.3	▲ 0.5	▲ 6.8
乗 用 車	▲ 0.1	▲ 0.1	8.6	▲ 2.9	▲ 11.8	2.7	▲ 2.6	▲ 5.9
軽 自 動 車	26.6	12.3	11.9	▲ 4.4	▲ 4.0	2.0	2.0	▲ 7.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は11月度



(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,327 戸

*前年同月比： 4.9%減

<概 況>

11月の新設住宅着工戸数は1,327戸で、前年同月比 4.9%減と、2か月連続で前年実績を下回った。
利用関係別にみると、貸家（前年同月比 27.9%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、分譲住宅（同 23.8%減）が3か月ぶり、持家（同 9.6%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 7 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
戸 数 (戸)	1,412	1,174	1,364	1,662	1,605	1,403	1,766	1,327
前 年 同 月 比 (%)	▲ 19.3	▲ 43.5	▲ 3.2	1.5	▲ 3.1	3.2	▲ 13.7	▲ 4.9
う ち 持 家 (%)	▲ 16.8	▲ 24.9	▲ 24.6	▲ 5.7	▲ 10.4	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 9.6
貸 家 (%)	▲ 41.5	▲ 29.0	33.0	▲ 7.2	9.4	11.5	0.3	27.9
分譲住宅 (%)	14.4	▲ 70.0	▲ 6.7	61.5	▲ 9.4	37.6	4.3	▲ 23.8
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 26.6	▲ 34.4	▲ 15.6	▲ 9.7	▲ 9.8	▲ 7.3	3.2	▲ 8.5

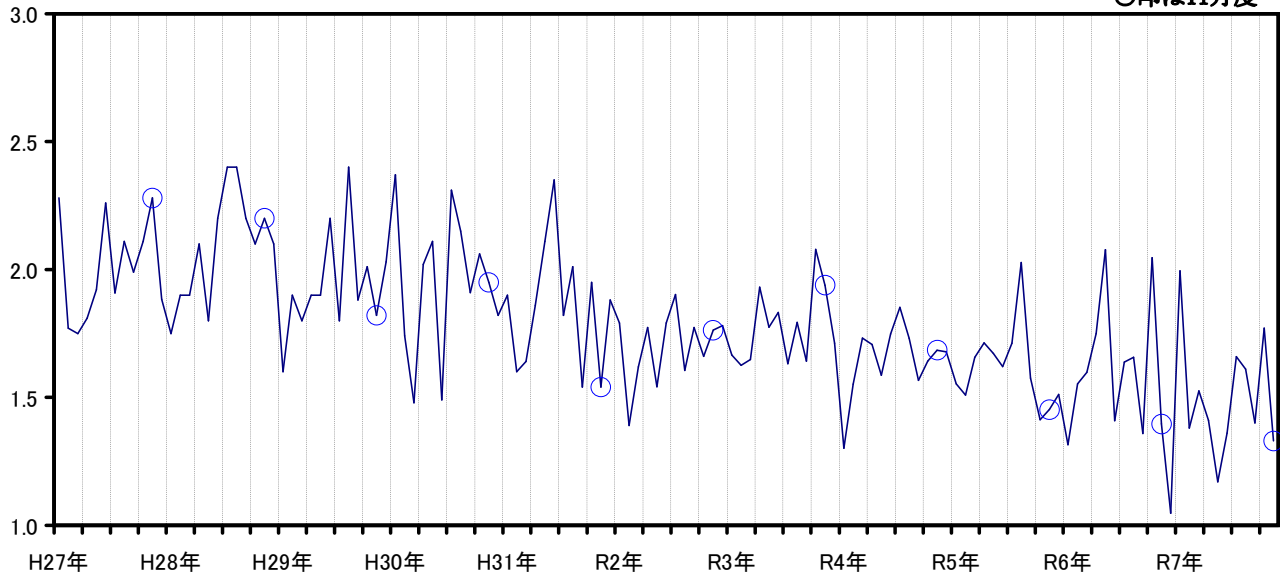
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は11月度



3 公共工事請負金額

11月＝14,761百万円

*前年同月比：18.5%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は14,761百万円で、前年同月比18.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は465件で、前年同月比8.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	65,432	43,571	51,879	37,302	27,483	46,869	19,857	14,761
前年同月比（%）	24.7	▲9.2	39.8	6.2	▲1.9	44.8	▲9.2	▲18.5
年度累計前年同月比（%）	24.7	8.5	16.9	14.7	12.4	16.9	14.7	12.5
件数（件）	445	542	711	832	639	1,012	646	465
前年同月比（%）	▲19.2	▲19.1	▲7.4	9.3	▲11.6	11.6	▲8.6	▲8.6
年度累計前年同月比（%）	▲19.2	▲19.2	▲14.6	▲8.0	▲8.8	▲4.5	▲5.1	▲5.4

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	▲32.8	▲22.3	6.4	65.9	▲38.5	21.4	69.7	▲49.0
独立行政法人等	▲32.1	▲34.7	250.7	9.1	4,130.3	1,772.5	10.2	▲91.1
県	▲2.0	▲13.0	58.2	11.6	9.9	18.4	▲22.9	▲14.5
市町	23.2	7.2	24.7	▲13.7	1.6	15.9	▲14.7	17.0
地方公社	-	-	74.7	47.0	-	1,301.4	▲87.0	-
その他	364.1	25.3	383.0	14.2	▲61.4	48.6	276.8	▲69.7

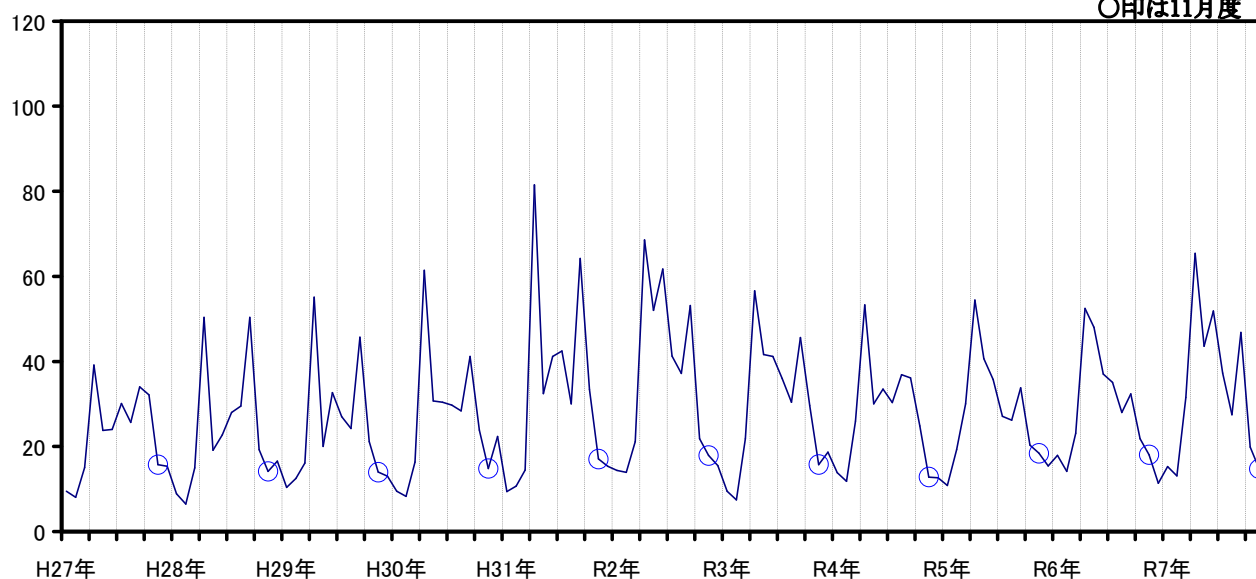
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は11月度



4 設備投資

<概 況>

令和6年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和7年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 39.1%増）、非製造業（同 4.6%増）、全産業（同 24.2%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.4%増）、非製造業（同 3.3%増）、全産業（同 14.5%増）においていずれも増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は50,576㎡で、前年同月比 18.7%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	7.2	(1.8) 24.2
	全国	7.5	(0.5) 8.9
製造業	県	11.5	(2.8) 39.1
	全国	7.3	(0.1) 14.0
非製造業	県	2.4	(0.1) 4.6
	全国	7.6	(0.7) 6.0

		R6年度	R7年度 (計画)
全産業	県	11.7	(0.4) 14.5
	全国	6.9	(0.0) 9.5
製造業	県	15.1	(0.7) 17.4
	全国	6.6	(▲0.4) 9.9
非製造業	県	0.8	(▲0.6) 3.3
	全国	7.1	(0.4) 9.1

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

〈資料〉 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和7年12月調査)

＜最近の動き＞

	R 7 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
普通建築物床面積（非居住用）（㎡）	86,908	91,242	34,889	89,689	57,307	37,380	67,567	50,576
前年同月比（％）	▲ 5.9	▲ 35.8	▲ 77.5	46.3	▲ 14.8	▲ 57.6	▲ 47.2	▲ 18.7
（参考）全国前年同月比（％）	0.9	22.8	▲ 13.9	▲ 20.7	▲ 15.6	▲ 3.1	▲ 8.0	▲ 25.1

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

〈資料〉国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D. I.＞

		R 7 年 9 月	R 7 年 12 月	R 8 年 3 月 (予測)
全 産 業		5	8	2
	製 造 業	▲ 8	▲ 6	▲ 8
	非 製 造 業	18	20	10
(参考) 全国 ・ 全産業		15	17	11

(注4) 業況判断D.I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

〈資料〉 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和7年12月調査)」

5 輸出

11月＝264,365百万円

*前年同月比： 28.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は264,365百万円で、前年同月比 28.5%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 11.8%減）が3か月ぶり、自動車（同 17.9%減）が2か月ぶり、科学光学機器（同 21.5%減）が2か月ぶり、原動機（同 14.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車の部分品（同 48.0%増）が4か月連続、二輪自動車類（同 13.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。
 地域別にみると、アジア向け（同 3.7%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、米国向け（同 100.4%増）が3か月ぶり、EU向け（同 26.9%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額（百万円）	222,309	183,410	217,473	227,255	198,300	213,510	230,911	264,365
前年同月比（%）	▲ 1.5	▲ 5.8	▲ 4.0	▲ 7.4	▲ 4.2	▲ 1.7	8.7	28.5
（参考）全国前年同月比（%）	2.0	▲ 1.7	▲ 0.5	▲ 2.6	▲ 0.1	4.2	3.6	6.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	8.2	▲ 8.6	17.4	6.5	15.6	2.7	▲ 13.0	▲ 14.9
エアコン	61.8	47.1	▲ 3.3	▲ 26.3	▲ 9.3	7.3	20.3	▲ 11.8
自動車	▲ 18.9	▲ 51.5	▲ 35.6	▲ 4.7	▲ 15.1	▲ 8.4	15.3	▲ 17.9
自動車の部分品	▲ 6.3	4.7	11.4	▲ 6.0	1.3	13.2	31.2	48.0
二輪自動車類	9.3	3.9	9.6	▲ 12.9	31.1	▲ 8.2	24.2	13.5
科学光学機器	▲ 24.6	▲ 21.4	▲ 31.2	▲ 42.5	▲ 25.2	▲ 13.7	11.4	▲ 21.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	0.8	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 5.6	▲ 11.4	▲ 3.1	9.7	▲ 3.7
米国	▲ 2.0	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 11.5	5.9	▲ 12.3	▲ 6.3	100.4
EU	▲ 14.6	▲ 22.9	▲ 9.2	▲ 17.7	8.2	4.0	38.2	26.9

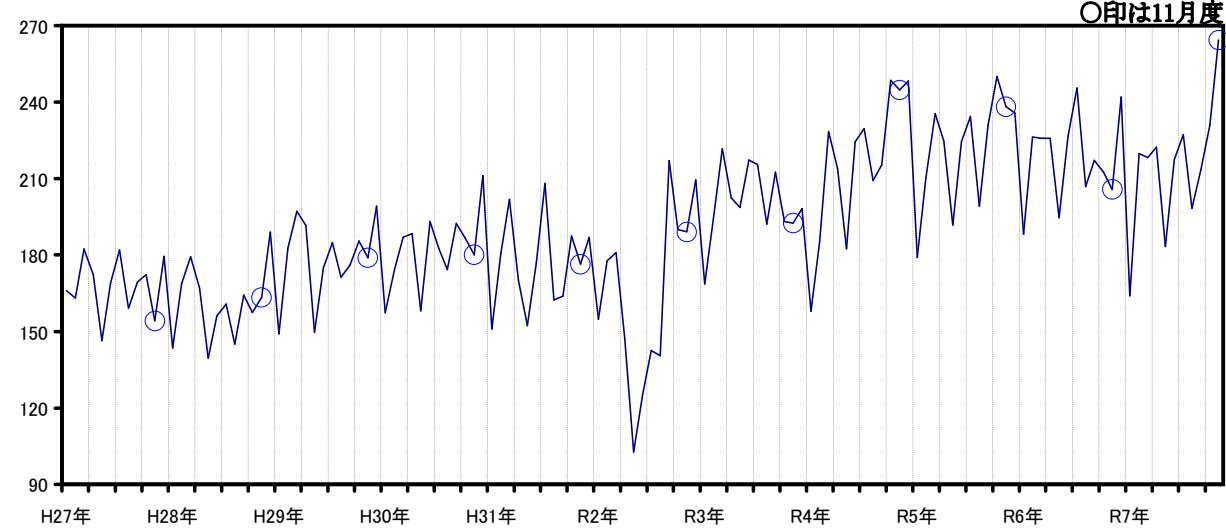
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

11月＝122,544百万円

*前年同月比：7.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は122,544百万円で、前年同月比7.3%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比3.1%減）が4か月ぶり、木材（同12.7%減）が2か月ぶり、パルプ（同21.2%減）が3か月連続、紙類及び同製品（同28.3%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同20.8%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同9.7%増）が4か月連続で前年実績を上回った。
 地域別では、EUから（同18.5%減）が2か月ぶり、アジアから（同20.7%増）が3か月連続、米国から（同20.6%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額（百万円）	120,831	133,766	123,956	132,078	105,951	123,998	122,451	122,544
前年同月比（%）	▲0.4	2.3	11.4	5.8	▲5.5	6.9	8.0	7.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類及び同調製品	30.6	▲4.5	5.9	▲2.0	9.4	38.5	10.7	▲3.1
木材	▲14.9	29.3	0.1	▲0.2	2.7	▲6.6	17.4	▲12.7
パルプ	8.0	▲5.7	▲18.1	▲15.8	4.2	▲9.7	▲8.3	▲21.2
紙類及び同製品	▲27.0	2.2	28.6	1.2	▲14.7	▲14.2	▲2.6	▲28.3
原動機	15.9	▲39.6	▲0.8	▲60.9	22.6	▲22.6	▲30.3	20.8
自動車の部分品	▲7.1	▲17.1	0.2	▲3.0	32.3	5.7	36.9	9.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	▲0.7	8.0	7.1	14.1	▲3.6	4.1	16.7	20.7
米国	▲38.5	▲31.3	▲15.9	2.7	▲30.8	▲8.8	12.9	20.6
EU	▲6.5	5.5	▲14.4	10.1	▲14.4	▲18.4	18.1	▲18.5

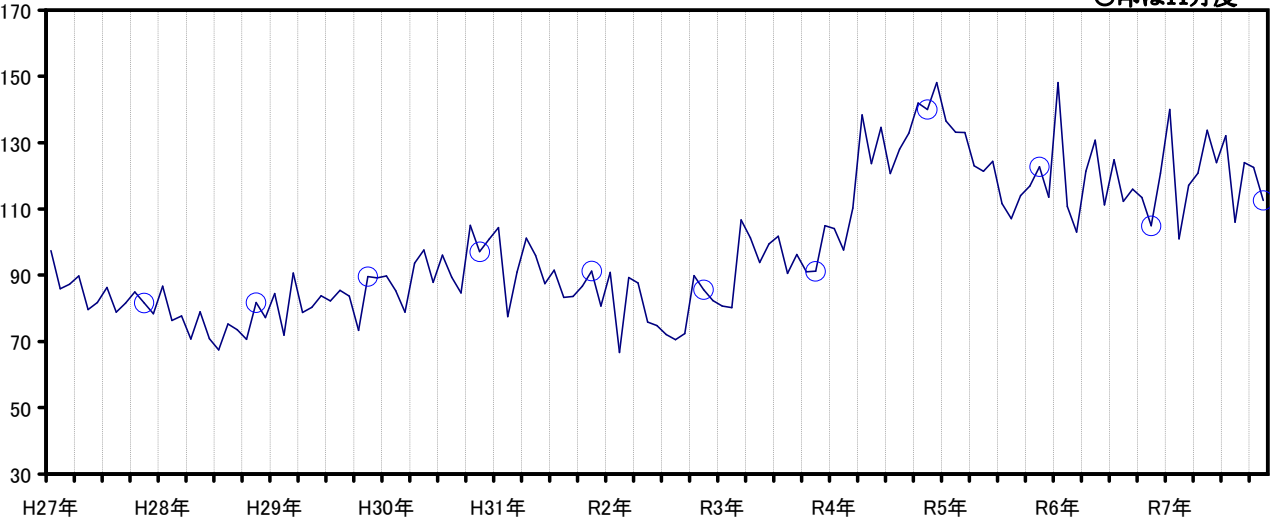
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額（十億円）

<資料>清水税関支署

○印は11月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

11月 = 95.1

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.1%減

*前年同月比(原指数) : 4.3%減

<概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は95.1(季節調整済指数)で、前月比は2.1%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は4.3%減と、3か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 4.9%増)が14か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同 9.3%減)が15か月ぶり、輸送機械(同 1.8%減)が3か月ぶり、化学(同 8.7%減)が3か月ぶり、食料品・たばこ(同 3.2%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 2.9%減)が2か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	93.3	99.8	96.3	93.7	95.3	94.9	97.1	95.1
前月比(%)	▲0.6	7.0	▲3.5	▲2.7	1.7	▲0.4	2.3	▲2.1
前年同月比(%)	▲3.6	▲4.0	1.7	▲4.1	▲3.0	1.8	2.0	▲4.3
(参考)全国前年同月比(%)	0.5	▲2.4	4.4	▲0.4	▲1.6	3.8	1.6	▲2.2

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲23.8	▲1.8	0.0	▲6.6	▲3.6	▲11.2	▲15.9	4.9
電気機械工業	30.7	14.8	25.4	9.9	5.7	4.4	10.7	▲9.3
輸送機械工業	▲6.6	▲7.9	▲2.1	▲4.1	▲1.9	6.4	4.0	▲1.8
化学工業	▲11.0	▲18.5	▲7.6	▲14.4	▲4.7	1.8	1.9	▲8.7
パルプ・紙・紙加工品工業	1.5	▲0.4	▲2.0	▲3.8	▲8.7	2.7	▲0.6	▲2.9
食料品・たばこ工業	▲15.6	▲3.6	▲1.2	▲4.9	▲4.4	▲2.4	1.2	▲3.2

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

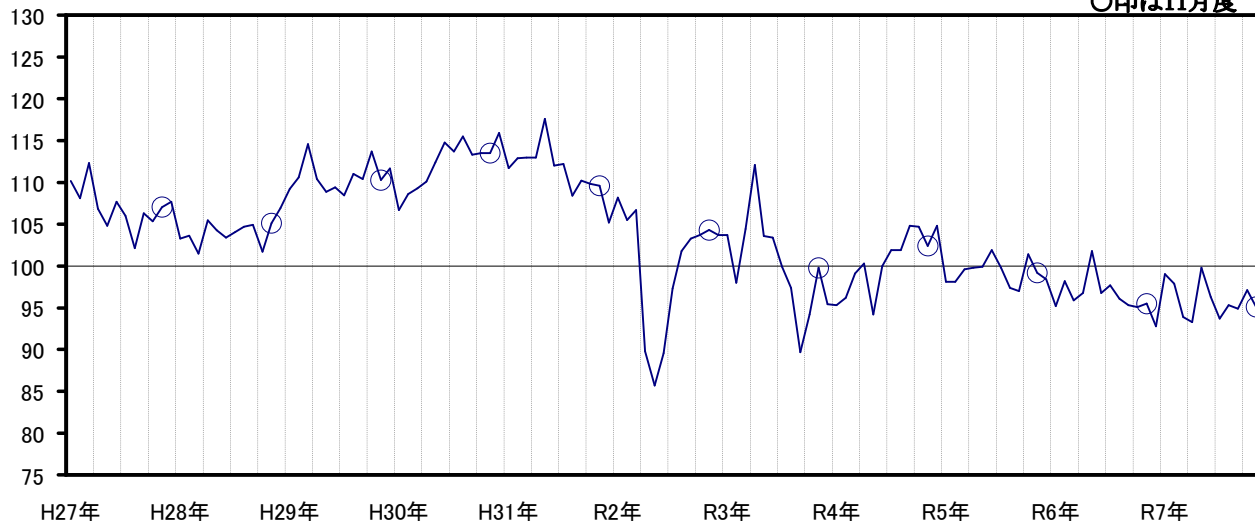
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は11月度



(2) 鋳工業在庫指数

11月＝105.8

(令和2年＝100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数)：1.2%増
* 前年同月比(原指数)：1.5%増

<概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は105.8(季節調整済指数)で、前月比は1.2%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は1.5%増と、3か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比1.3%減)が2か月ぶり、輸送機械(同3.6%減)が2か月連続、食料品・たばこ(同4.3%減)が6か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同5.2%増)が2か月ぶり、化学(同7.2%増)が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.7%増)が18か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	103.0	102.8	104.8	102.1	102.0	105.9	104.5	105.8
前月比(%)	▲2.5	▲0.2	1.9	▲2.6	▲0.1	3.8	▲1.3	1.2
前年同月比(%)	▲2.6	▲2.9	▲0.1	▲2.6	▲5.0	2.6	0.2	1.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.1	▲3.1	▲3.1	▲2.4	▲2.9	▲2.4	▲1.9	▲4.1

(注) 令和2年＝100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料> 県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲9.9	▲5.9	▲4.9	▲5.3	▲4.7	0.1	▲0.4	5.2
電気機械工業	0.1	▲7.1	3.4	2.1	5.2	▲0.9	1.1	▲1.3
輸送機械工業	▲13.6	▲17.6	▲7.6	▲13.7	▲34.7	3.6	▲4.7	▲3.6
化学工業	1.6	0.4	4.8	6.3	6.3	12.3	11.5	7.2
パルプ・紙・紙加工品工業	7.7	11.0	8.0	4.6	4.7	2.9	0.3	3.7
食料品・たばこ工業	3.0	3.4	▲2.0	▲11.3	▲0.6	▲4.5	▲8.8	▲4.3

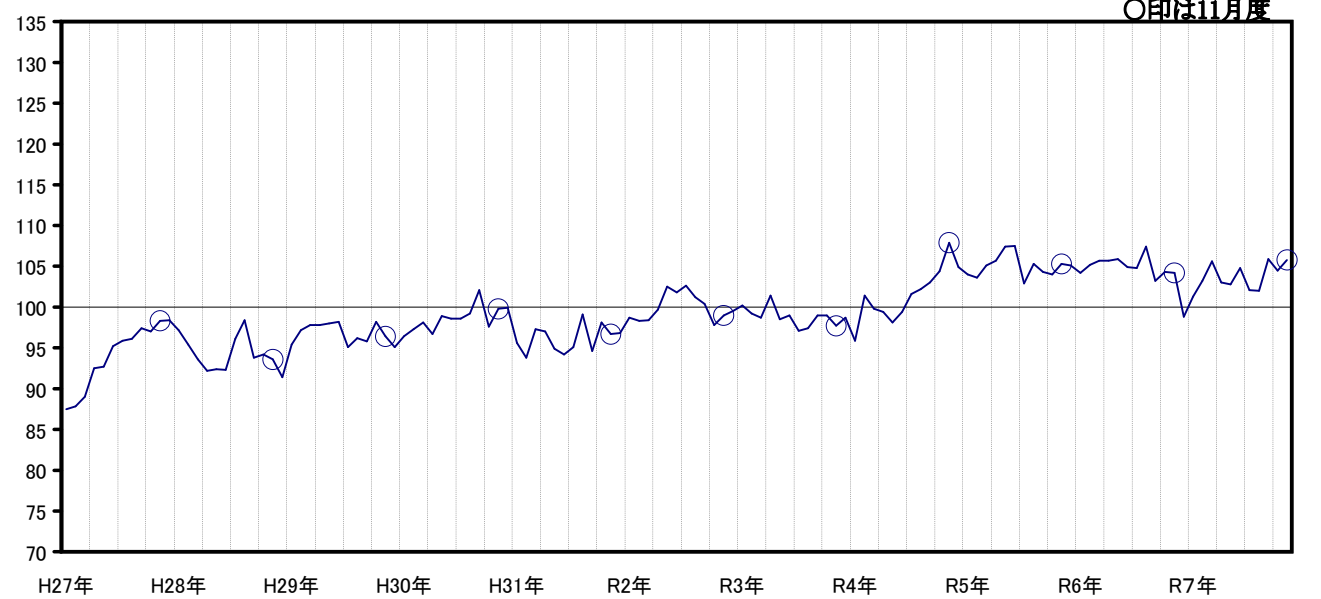
(注) 令和2年＝100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料> 県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和2年＝100)

<資料> 県統計活用課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.06倍

*前月比（季節調整値）： 0.00ポイント

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

11月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.06倍となり、前月と同水準だった。58か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 9.6%減）は7か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比 3.9%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同 4.1%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、卸売業・小売業（同 24.5%減）が2か月ぶり、医療・福祉（同 11.1%減）が3か月ぶり、建設業（同 2.4%減）が5か月連続、製造業（同 14.5%減）が2か月連続、運輸業・郵便業（同 15.7%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県（受理地別）	1.10	1.08	1.07	1.05	1.05	1.04	1.06	1.06
（参考）県（就業地別）	1.23	1.23	1.23	1.19	1.18	1.17	1.18	1.17
全 国	1.26	1.24	1.22	1.22	1.20	1.20	1.18	1.18

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建 設 業	▲ 3.6	▲ 4.4	0.3	▲ 4.1	▲ 1.1	▲ 0.1	▲ 8.5	▲ 2.4
製 造 業	▲ 7.0	8.0	▲ 0.8	▲ 16.2	▲ 1.3	3.4	▲ 18.4	▲ 14.5
情 報 通 信 業	▲ 37.8	▲ 31.3	11.5	▲ 15.7	▲ 17.8	18.5	▲ 24.2	3.9
運 輸 業 ・ 郵 便 業	20.3	▲ 11.6	5.7	3.3	▲ 16.8	▲ 1.3	▲ 13.5	▲ 15.7
卸 売 業 ・ 小 売 業	55.9	▲ 21.9	4.4	18.9	▲ 41.8	▲ 6.9	10.2	▲ 24.5
医 療 ・ 福 祉	▲ 0.2	▲ 4.3	0.6	▲ 0.7	▲ 4.0	0.0	3.5	▲ 11.1
サービス業（他に分類されないもの）	2.5	7.6	0.4	▲ 12.1	11.9	3.4	▲ 1.4	4.1
合 計	4.6	▲ 4.1	▲ 0.6	▲ 3.3	▲ 10.1	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 9.6

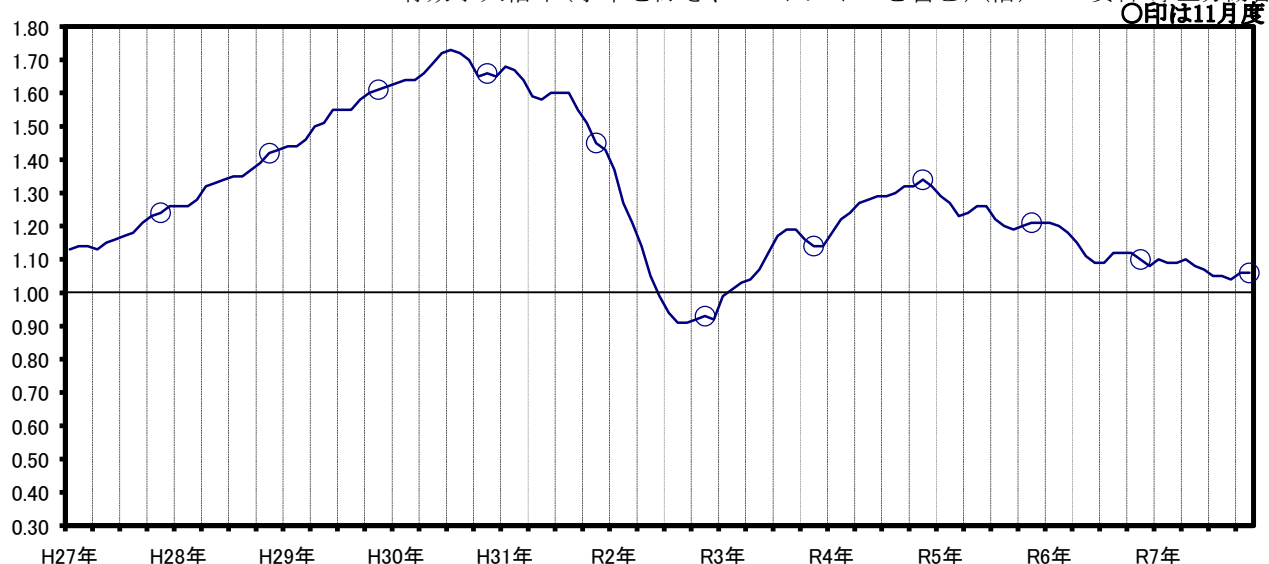
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月＝ 13,482人

*前月比: 7.8%減

*前年同月比: 9.6%増

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は13,482人で、前月比は7.8%減と、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は9.6%増と6か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.6%と前月と同水準だった。

静岡県(令和7年7～9月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和7年4～6月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	11,217	12,059	12,992	15,013	14,817	14,982	14,620	13,482
前月比(%)	0.0	7.5	7.7	15.6	▲1.3	1.1	▲2.4	▲7.8
前年同月比(%)	0.2	▲0.8	4.2	8.3	9.0	13.6	11.2	9.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.5	▲2.3	5.4	7.2	8.5	13.9	11.8	9.3

<資料>厚生労働省

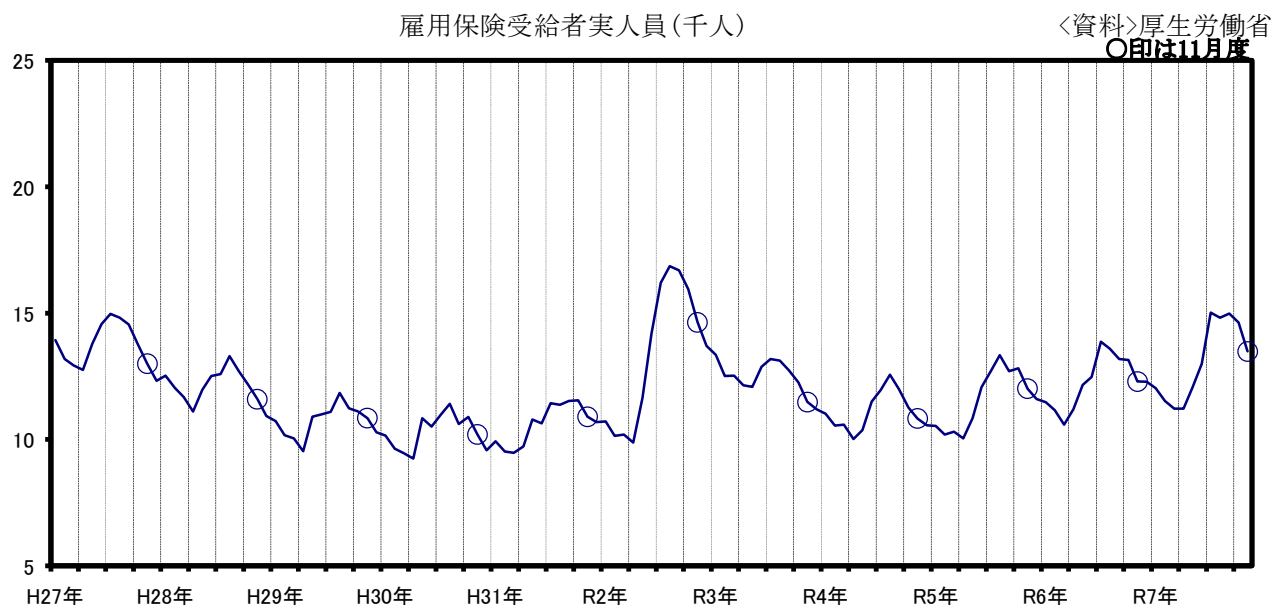
<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.5	2.5	2.5	2.3	2.6	2.6	2.6	2.6

(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 124.9

* 前月比(季節調整済指数): 1.1%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 4.7%増

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は124.9(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は10か月ぶりに前年実績を上回った。

業種別にみると、医療・福祉(前年同月比 11.7%減)、その他のサービス業(同 3.8%減)がいずれも2か月ぶり、建設業(同 17.9%減)が11か月連続、製造業(同 7.9%減)が14か月連続で前年実績を下回ったものの、卸売業・小売業(同 5.8%増)が15か月ぶり、情報通信業(同 11.6%増)が3か月連続、運輸業・郵便業(同 12.5%増)が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	117.3	122.1	124.0	124.3	124.6	114.7	123.6	124.9
前月比(%)	▲ 2.0	▲ 4.1	1.6	0.2	0.2	▲ 7.9	7.8	1.1
前年同月比(%)	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0	▲ 6.8	▲ 0.8	4.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.3	▲ 1.7	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.9

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲ 2.2	▲ 13.1	▲ 30.1	▲ 20.9	▲ 17.7	▲ 23.2	▲ 42.6	▲ 17.9
製造業	▲ 4.9	▲ 7.5	▲ 9.5	▲ 9.1	▲ 7.5	▲ 12.0	▲ 8.1	▲ 7.9
情報通信業	4.3	2.3	43.1	38.0	▲ 10.1	15.2	32.7	11.6
運輸業・郵便業	16.6	14.7	10.6	11.5	42.9	18.4	2.6	12.5
卸売業・小売業	▲ 4.5	▲ 20.9	▲ 20.6	▲ 15.1	▲ 21.8	▲ 15.4	▲ 3.1	5.8
医療・福祉	▲ 11.8	▲ 3.0	0.0	22.4	0.0	▲ 12.7	27.4	▲ 11.7
その他のサービス業	▲ 7.5	2.7	2.2	▲ 6.1	0.0	▲ 7.1	2.1	▲ 3.8
調査産業計	0.0	▲ 4.4	▲ 4.6	▲ 0.7	0.0	▲ 6.8	▲ 0.8	4.7

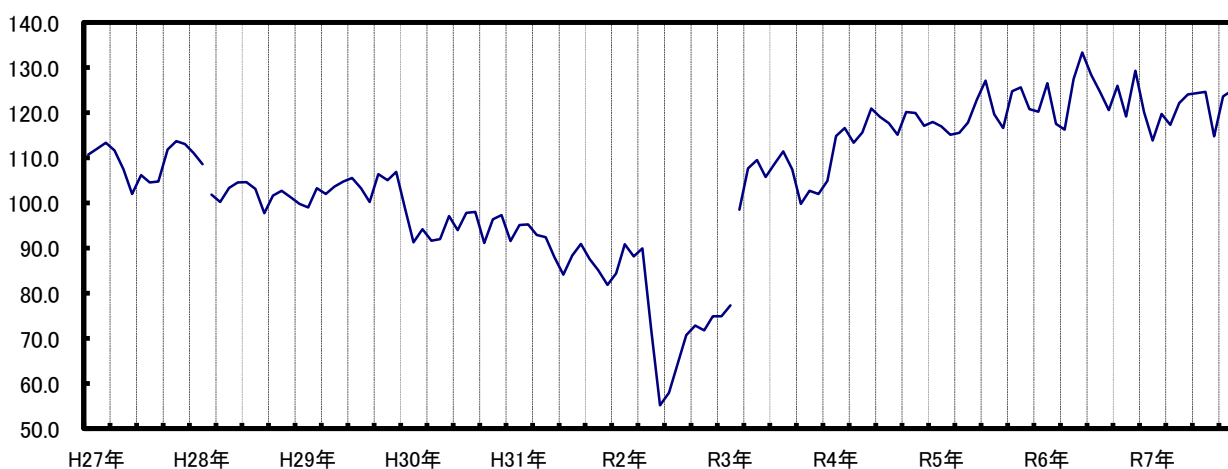
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

12月 = 128.1

*前月比: 0.1%上昇

*前年同月比: 2.4%上昇

<概況>

12月の国内企業物価指数は128.1となり、前月比は0.1%の上昇となった。また、前年同月比は2.4%の上昇となった。

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	126.5	126.4	126.7	126.4	127.0	127.6	128.0	128.1
前月比(%)	▲0.1	▲0.1	0.2	▲0.2	0.5	0.5	0.3	0.1
前年同月比(%)	3.1	2.8	2.5	2.6	2.8	2.7	2.7	2.4

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

10月 = 145,328億円

*前月比: 0.2%減

*前年同月比: 1.9%増

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,328億円で、前月比とは0.2%の減少となった。また、前年同月比は1.9%の増加となった。

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出残高(億円)	144,009	143,374	145,233	145,216	145,267	145,524	145,547	145,328
前月比(%)	0.3	▲0.4	1.3	0.0	0.0	0.2	0.0	▲0.2
前年同月比(%)	0.2	1.0	2.0	1.6	1.9	1.8	1.5	1.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

10月 = 1.543%

*前月差: 0.000ポイント増

*前年同月差: 0.222ポイント増

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.543%で、前月と同水準だった。なお、前年同月差は0.222ポイントのプラスとなった。

	R7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
貸出約定金利(%)	1.435	1.483	1.485	1.534	1.542	1.540	1.543	1.543
前月差(ポイント)	0.037	0.037	0.002	0.049	0.008	▲0.002	0.003	0.000
前年同月差(ポイント)	0.179	0.179	0.213	0.268	0.274	0.261	0.240	0.222

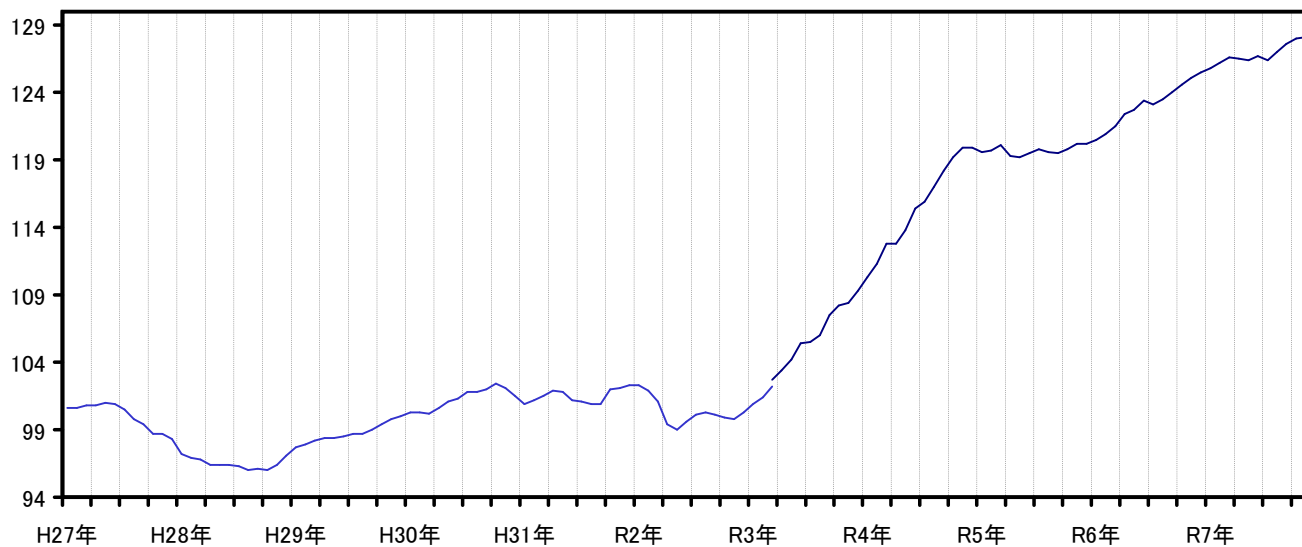
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

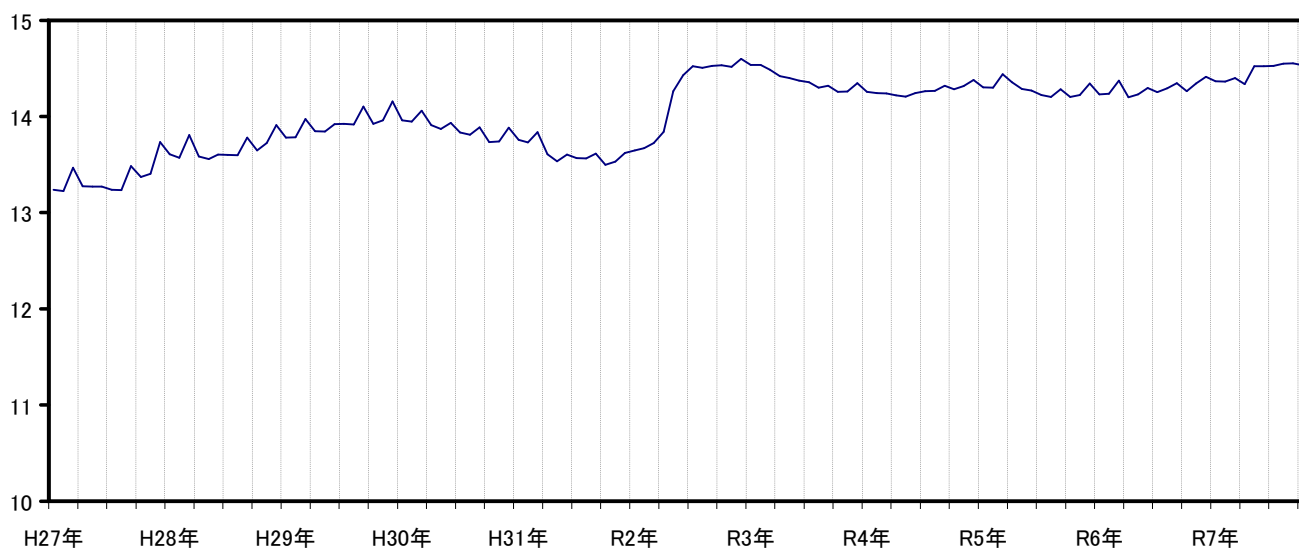
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



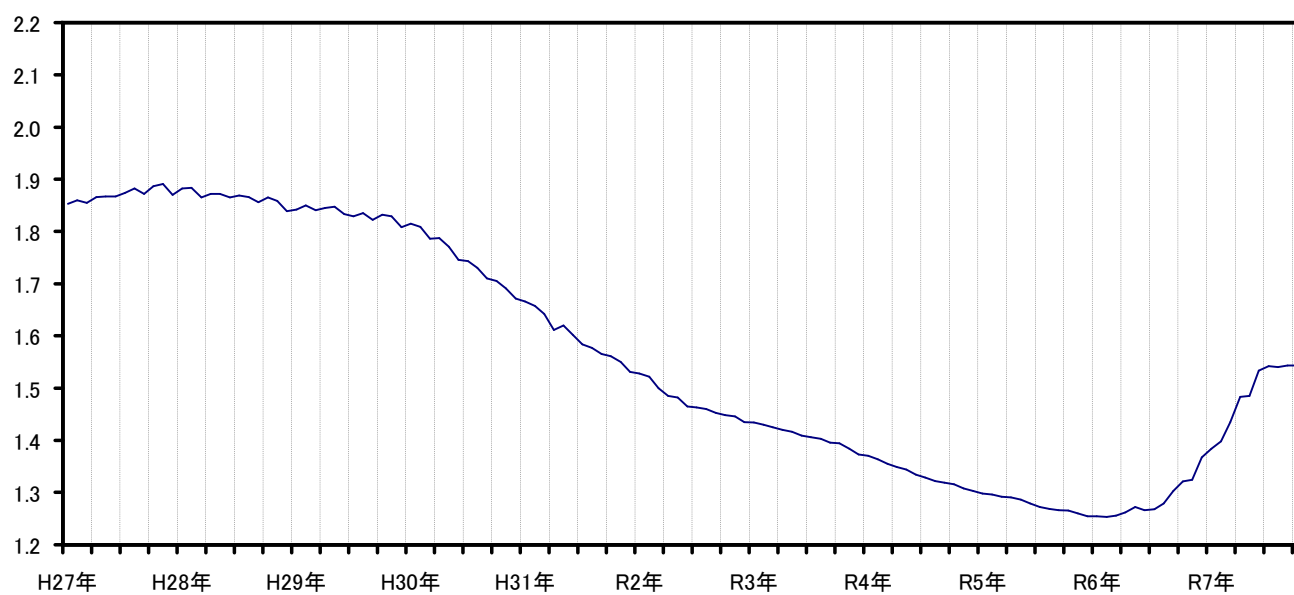
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

11月＝16,907百万円

*前年同月比：15.9%増

<概況>

11月の保証承諾は、金額は16,907百万円（前年同月比15.9%増）、件数は1,411件（同2.8%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	28,272	32,981	28,829	22,299	19,851	25,391	16,213	16,907
前年同月比（%）	73.9	52.2	▲4.9	▲2.8	41.4	79.5	27.6	15.9
保証件数（件）	1,810	2,030	1,961	1,753	1,584	1,984	1,536	1,411
前年同月比（%）	32.2	18.6	▲9.2	▲2.8	14.2	34.0	18.5	2.8

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

12月＝155.88円/ドル

*前月差：0.76円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差：2.16円安

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は155.88円で、前月と比べて0.76円の円安となり、6か月連続で円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R7年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	144.75	144.50	146.71	147.67	147.94	151.28	155.12	155.88
前月差（円）	0.36	▲0.25	2.21	0.96	0.27	3.34	3.84	0.76
前年同月差（円）	▲11.38	▲13.32	▲11.35	1.44	4.56	1.65	1.40	2.16

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

11月＝18件

*前年同月比：38.5%増

<概況>

11月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比38.5%増）と前年実績を上回り、負債総額は3,149百万円（同132.6%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の94.4%を占め、31か月連続で50%以上となっている。

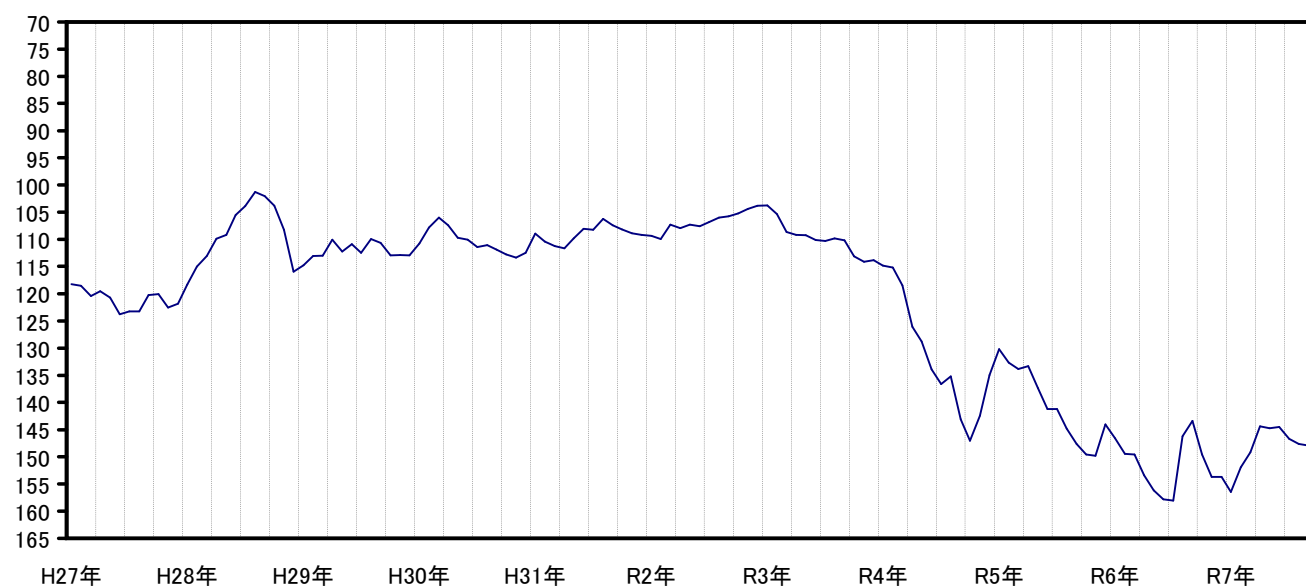
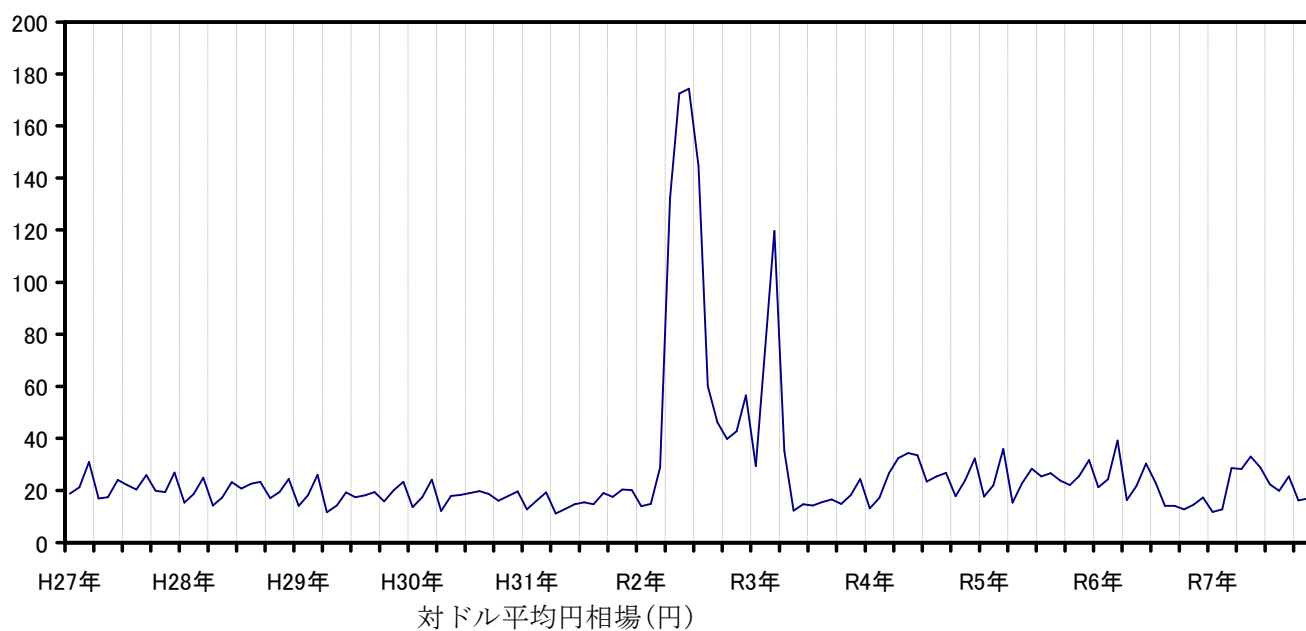
	R7年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
倒産件数（件）	14	17	23	20	17	29	15	18
前年同月比（%）	▲36.4	▲22.7	76.9	▲23.1	41.7	38.1	▲48.3	38.5
うち不況型倒産件数（件）	13	14	18	18	12	25	11	17
負債総額（百万円）	1,595	1,653	2,896	3,548	2,832	3,380	1,693	3,149
前年同月比（%）	▲32.4	▲84.1	116.1	▲58.0	39.6	18.9	▲60.2	132.6

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

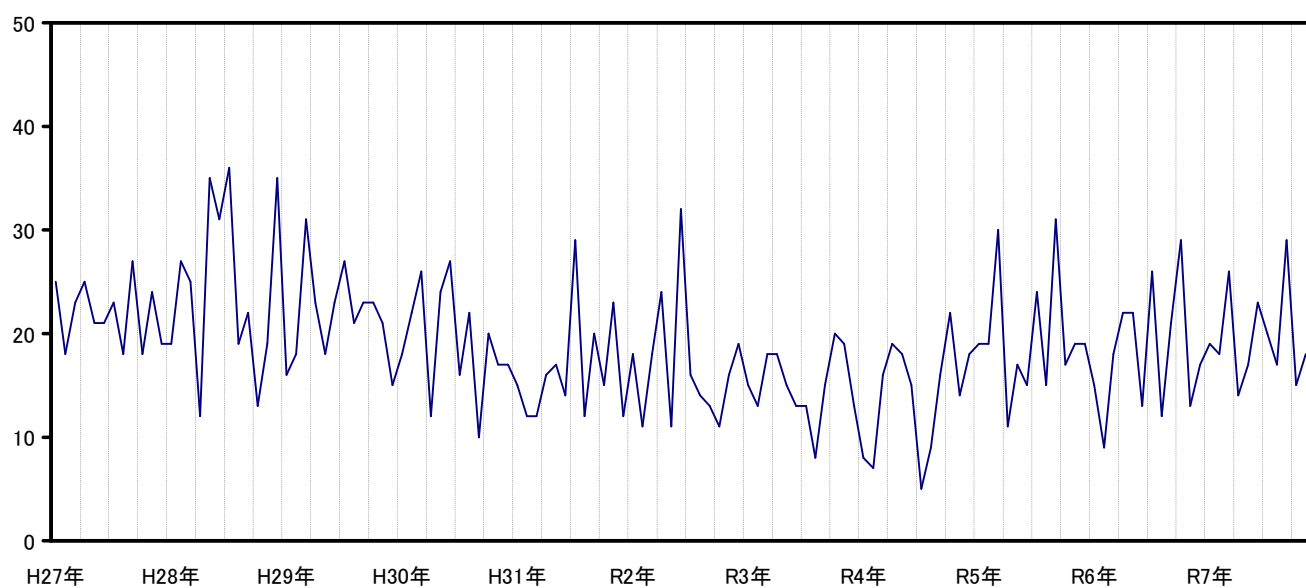
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和7年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、59,279台（前年同月比6.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、1,599台（同83.2%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,956台（同23.1%増）で、9か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,972台（同3.6%減）で3か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、45,752台（同4.1%増）で、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、30,773台（同7.8%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、47,285台（同0.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>10月の自動車国内生産台数は、814,155台（前年同月比0.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。輸出は387,589台（同0.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は284億円（前年同月比5.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。国内出荷台数は253千台（同8.1%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは532千台（同1.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は65千台（同3.6%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、320千台（同45.5%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、257千台（同47.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は80.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,370億500万円（前年同月比14.8%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,050億1,800万円（同23.6%増）で、14か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが542億9,600万円（同27.9%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内需は319億8,700万円（同6.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会</p>

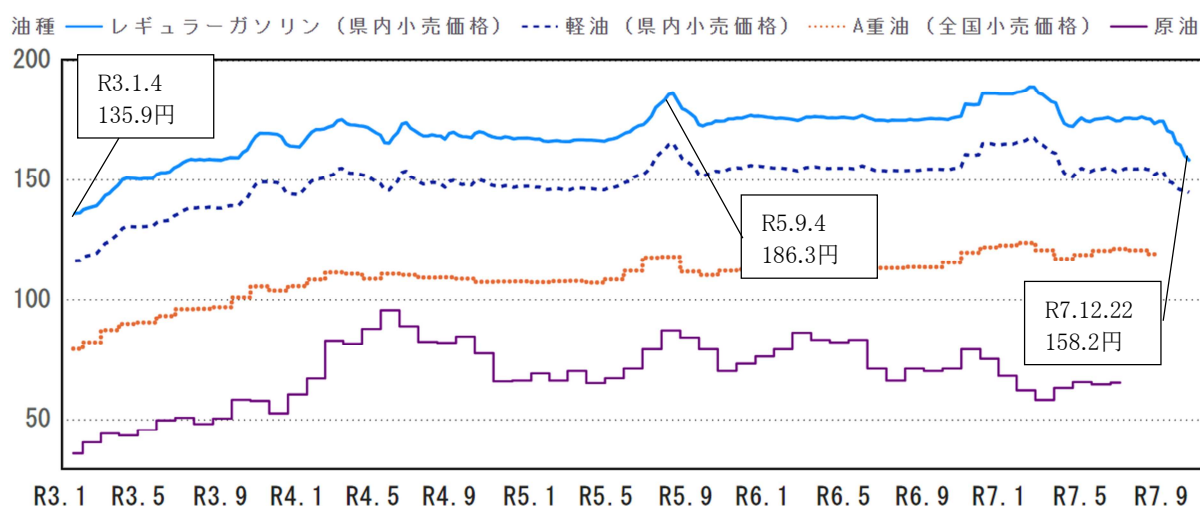
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、51億1,847万円（前年同月比 6.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが29億6,848万円（同 6.1%減）で、15か月連続で前年実績を下回った。国内向けが22億1,619万円（同8.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は1,749台（同9.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが994台（同 6.6%減）、グランドピアノが755台（同13.5%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,543台（同 19.9%増）で、3か月連続で前年実績を上回り、国内向けが823台（同22.4%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、1,594千トン（前年同月比 7.1%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は723千トン（同 7.7%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。板紙は870千トン（同6.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、369千トン（同 8.2%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、151千トン（同4.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が925千箱（前年同月比10.3%減）で2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）が707千箱（同6.4%減）で2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は466千箱（同0.9%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は218千箱（同20.2%減）で3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類（国内向け）は、6,857千箱（同0.3%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、950千㎡（前年同月比 2.5%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、916千㎡（同 2.7%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、35千㎡（同3.8%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、16千㎡（同 7.8%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、38億4,143万円（前年同月比6.9%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、691億23万円（同3.6%減）と3ヶ月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店・スーパーの販売額は、40,885百万円（既存店前年同月比5.5%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品、その他の商品及び食堂・喫茶の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は同程度であったが、売上げは増加した。雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、身の回り品、家庭用品及び食料品の売上げが不調だった。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。食料品、雑貨及び映画館等サービス施設の売上げが好調だった一方で、衣料品の売上げが不調だった。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。物価高騰の影響により、客単価が上昇した。</p> <p>＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和7年11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約56万人で、前年同月比39.6%増となった。</p> <p>休日が好天に恵まれたことや、イベントが好評だったこと等により、すべての施設で前年同月を上回る入込となった。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約66万台となり、前年同月比5.6%増となった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー158.2円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数（台）	25,562	22,957	22,521	22,185	23,511	17,383	22,850	25,794	26,857
前年同月比（%）	2.4	▲ 9.2	4.0	0.5	2.1	▲ 11.5	▲ 2.8	▲ 6.5	▲ 8.0
KD輸出額（百万円）	2,342	2,276	1,962	1,889	1,404	1,164	1,693	1,596	1,973
前年同月比（%）	102.1	106.4	199.3	163.8	48.3	62.2	180.3	117.9	193.6

<楽 器>

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額（百万円）	2,895	3,736	3,338	3,624	3,822	2,780	3,530	3,768	3,011
前年同月比（%）	▲ 19.0	7.7	▲ 4.7	8.5	5.6	6.1	19.3	10.7	▲ 2.6

<缶 詰>

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高（千ケース）	895	965	924	1,014	999	842	967	1,007	925
前年同月比（%）	1.7	3.5	▲ 0.1	3.5	▲ 4.6	▲ 3.1	0.2	▲ 4.7	▲ 10.3
うち水産缶詰（%）	5.4	2.7	▲ 0.5	3.7	▲ 4.5	▲ 4.4	1.1	▲ 0.4	▲ 6.5
農畜産缶詰（%）	▲ 8.6	5.7	1.2	2.9	▲ 4.7	1.1	▲ 2.7	▲ 16.5	▲ 20.8
飲料缶生産高（千ケース）	6,776	6,517	6,688	6,643	7,109	7,368	6,504	7,735	6,857
前年同月比（%）	▲ 6.3	▲ 3.4	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 6.4	4.3	0.9	13.7	0.3

<織 維>

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物（千㎡）	860	771	621	647	559	582	678	816	951
前年同月比（%）	▲ 7.3	▲ 14.8	▲ 17.2	▲ 9.8	▲ 10.7	▲ 5.5	▲ 16.9	▲ 8.5	▲ 2.5
小幅織物（千㎡）	16	17	16	16	16	15	16	15	15
前年同月比（%）	▲ 11.0	▲ 3.5	▲ 3.0	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 11.1	▲ 2.3	▲ 5.5	▲ 7.8

<観 光>

	R 7年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ宿泊者数 （千人泊）	2,019	1,724	1,846	1,448	1,893	2,502	1,712	1,877	2,011
前年同月比（%）	▲ 3.2	▲ 3.9	2.0	▲ 6.4	▲ 7.9	▲ 3.1	▲ 5.4	▲ 0.6	▲ 1.1
観光施設（10施設）入込 （千人）	460	525	512	309	301	444	309	450	560
前年同月比（%）	27.5	▲ 17.3	▲ 34.6	5.4	1.5	14.0	▲ 0.8	8.6	39.6
有料道路（4路線）通行 量 （千台）	658	582	597	561	632	729	588	594	663
前年同月比（%）	1.9	▲ 11.9	▲ 14.4	▲ 3.8	0.9	6.1	0.8	▲ 2.7	5.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和8年1月号 通巻597号

発 行 静岡県経済産業部
令和8年1月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>